

2019 年度 F D 実施計画書

| 研究科・学部・学科 | キャリア開発学科 |
|---|--|
| <p>FD 取り組みへの理念・目標</p> <p>【理念】 キャリア開発学科の 3 ポリシーおよび第 7 次中期総合計画に基づき、教育目標に掲げる人材を育成するための学修支援と、それを可能にするための教員の教育と研究の質的向上を目指して FD に組織的に取り組む。</p> <p>【目標】 上記理念に基づき、学内（FD 委員会、FD 推進委員会、FD 推進センター、他学部・他学科、事務局）および学外（企業、高等学校、大学など）との有機的な関連・連携を深めることにより FD の一層の推進・強化を図り、「教育課程・教育目標・目標内容の検証」「教育方法の改善・学修成果の可視化」「公開授業」などに学科をあげて取り組む。</p> | |
| 回数、期間、 実施日等 | 実施事項・内容、実施組織、評価項目等 |
| | <p>1. 教育ワークショップの実施</p> <p>学科主任、FD 推進委員、教育ワークショップ委員が企画・立案、運営を行う。結果を学科の FD の推進、入試の志願者対策、就職対策などに役立てる。基本的に、毎月開催される学科会議の前に実施する。</p> <p>第 1 回 4 月 4 日 テーマ「入試結果の報告とその他」（入試広報部入試課）</p> <p>第 2 回 5 月 9 日 テーマ「2018 年度内定者最終報告及び今年度計画について」（学生部就職支援課）</p> <p>第 3 回 6 月 6 日 テーマ「教育支援にかかわる学生対応の現状と課題」（学生相談室）</p> <p>第 4 回 7 月 4 日 テーマ「学生募集について」（入試部入試課）</p> <p>第 5 回 8 月 1 日 テーマ「就職状況について」（学生部就職支援課）</p> <p>第 6 回 9 月 5 日 テーマ「科研費獲得へ向けての申請書作成について」（科研アドバイザー） テーマ「今後の全学的な公開授業について」（FD 推進委員）</p> <p>第 7 回 10 月 3 日 テーマ「国際交流と留学支援について」（学生部国際交流・社会連携課）</p> <p>第 8 回 11 月 7 日 テーマ「キャリア開発学科のフィールドワーク（『おもてなし研修』）を振り返って」 （学外 GS：福岡観光コンベンションビューロー 永田桂氏・岡千世氏）</p> <p>第 9 回 12 月 5 日 テーマ「就職状況について」（学生部就職支援課）</p> <p>第 10 回 1 月 9 日 テーマ「地域社会と連携した教育活動の推進について」 （学生部国際交流・社会連携課）</p> <p>第 11 回 2 月 13 日 テーマ「卒業生の転職・再就職、学び直しについて」 （学外 GS：西日本エリートスタッフ 瀬田智子氏）</p> <p>第 12 回 3 月 5 日 テーマ「2020 年度教育ワークショップ内容」（本学科教育ワークショップ委員）</p> <p>2. 学科 FD 研修会の実施</p> <p>全学的な「学生による授業アンケート」結果と教員による授業参観レポート、本学科での随時授業公開の参観レポート、および本学科実施の「授業等に関するアン</p> |

| | |
|---|--|
| <p>第1回 5月13日 第2回 10月14日</p> <p>4月～3月、月1回（原則第2木曜日とするが、学事日程などに合わせて適宜日程調整をする） 全12回実施</p> | <p>ケート」結果を学科内でオープンにした授業改善のためのFD研修会を実施する。</p> <p>学科主任とFD推進委員が運営する。学生による授業評価を受けて、授業改善をどのように実施し、授業評価がどのように変化したのか、さらに、今後、どのような授業改善を計画しているか、などを見る。基本的に、改善のために数値目標をあげ、それを次回の研修会の評価の指針とする。</p> <p>また、本年度は、本格的に専任教員による中間の授業アンケートを実施してその結果をFD研修会で報告する一方、本アンケートの有効性について検証する。</p> <p>テーマ「2018年度後学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」 テーマ「2019年度前学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」</p> <p>3. プロジェクト研究会の実施</p> <p>2019年度の本学科のプロジェクト研究課題は、「地域と連携した教育プログラムの開発－インターンシップとフィールドワーク」である。本プロジェクトでは、現行カリキュラムの「フィールドワーク分野」の「インターンシップⅡ」（2単位）と「フィールドワークⅠ・Ⅱ」（各1単位）の単位付与を前提に、地域（企業、行政、NPO法人、ボランティア団体など）と連携して、本学科の高次のALとしてふさわしい「インターンシップ」「フィールドワーク」のプログラムを開発することを目的とし研究を進めていく。本学科のFDの推進とも密接に関連していることから、引き続きプロジェクト研究会を毎月実施して、情報共有や進捗チェックを行い、研究に遅滞がないようにする。</p> <p>4. 教育課程・教育目標・教育内容の検証</p> <p>3つのポリシーを踏まえた教育カリキュラムの検証を学科主任、FD推進委員、教務委員が中心となり行う。また、2017年度から開始した新カリキュラムが2018年度で完成年度に達したこともあり、カリキュラムの改定も視野に入れ、作業を行う予定である。</p> <p>5. 教育方法の改善・学修成果の可視化に向けた取組みの実施</p> <p>5-1 3つのポリシーに基づき、教育プログラムレベル（学科）、科目レベルで、学生の学修成果を測定・把握し、学修成果等を検証するためのアセスメント・ポリシーを策定し実施する。</p> <p>5-2 各科目のルーブリック及びレポートや発表のルーブリックの見直しを行う一方、ルーブリックに対する学生の理解を深めるとともに、更なる活用を図る。また、ルーブリックの活用を促進するために、ルーブリックに基づいたレポート等の採点をスムーズに行えるようExcelによる採点シートの改良を進める。</p> <p>5-3 N-note 配付2年目であることから、1年目の利用をふり返り、その反省を生かして更なる活用を図る。また、UNIPAを出欠管理、資料配布、課題提出、小テストなど授業で活用する一方、学生の就職活動の支援などきめ細かな学生支援にも役立てる。</p> |
|---|--|

| | |
|------------|--|
| 原則随時 | <p>6. 公開授業を通じた授業改善の推進</p> <p>6-1 FD 推進委員会の「2019 年度公開授業（授業参観）実施要領」に基づき、積極的に授業公開、授業参観及び参観レポートの提出に取り組む。教育の内部質保証の一環として公開授業を積極的に活用し、学科内の授業改善はもとより他学部他学科の授業改善にも資する。また、今後の全学的な公開授業の在り方について、9 月 5 日の教育ワークショップ（この回のみテーマは 2 つ）で検討を行う他、前述の 5 月と 10 月の学科 FD 研修会でも検討を行う。</p> |
| 原則随時 | <p>6-2 本学科の通年授業公開を、学生の保護者や高大接続教育研究会メンバー校の公立高校教員を対象に、原則事前の参観予約なしで実施する。実施の告知は、入学式後の保護者懇談会や案内文書により行う。授業参観者には参観レポートを提出していただき、前述の学科 FD 研修会での資料としても活用する。</p> |
| 2 月または 3 月 | <p>7. 福岡工業大学短期大学部と連携した合同 FD 研修会の実施</p> <p>本学と福岡工業大学短期大学部との連携協定に基づく合同 FD 研修会に、本学科の全教員をあげて積極的に参加をする。それにより、更なる FD の推進に取り組む。</p> |